

# 佐渡米通信

# こめる

2022年 4月号

発行日:2022年4月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部販売企画課 駒形・渡辺(清)  
jasadotinoubu20@dune.ocn.ne.jp

## 「朱鷺と暮らす郷」動画が サステナブルアワード入賞

佐渡産米「朱鷺と暮らす郷」の動画が、食と農林水産業のサステナブルな取り組みとして、「サステナアワード2021伝えたい日本の“サステナブル”」生物多様性保全賞を受賞しました!!

審査委員からは、「動画は生物多様性と人々の暮らしを見事に表現しており、日本各地の生物多様性・農業アクターの参考や勇気になります。生物多様性・持続可能な農業をずっと続けていることを世界に訴えられると思います。」と講評を頂きました。

動画はこちらから  
ご覧ください!!



サステナブルアワード入賞の賞状

## 世田谷区の小学校で食育授業

東京都世田谷区立明正小学校で食育授業が行われました。明正小学校は、令和3年4月から佐渡産コシヒカリ「朱鷺と暮らす郷」を給食に使用しています。佐渡のたんぼからオンライン中継で、農家さんから生きものを育む農法についての取り組み紹介が行われました。その際には、トキがたんぼに飛来し子供たちに見てもらおうことが出来ました。

子供たちから「ふゆみずたんぼにしないとどうなるの?」といった質問や小学校で取り組んでいるたんぼの管理についてなどお米作りで日々感じている課題についての質問が上がりました。お米づくりを通して鋭い洞察力や多角的な考え方が育まれていると感じられる授業の様子でした。



佐渡のたんぼを背景に農家さんと農協職員が小学校とオンライン中継をしている様子

## 日本一環境にやさしい 米づくりを目指して

今年度JA佐渡が注力する取り組みの一つについてご紹介します。近年、環境問題として「肥料にも使用されているマイクロプラスチックの海洋生物への影響」が懸念されています。JA佐渡では今年度から水田外に排出させないための取り組みを広めるとともに、プラスチック資材を使用しない肥料への切り替えを検討します。



「ふゆみずたんぼ」でエサをついばむトキ

## 「つなぐ棚田遺産」島内7つの棚田が選出!!

2月14日に開催された、農林水産省のつなぐ棚田遺産選定委員会において、佐渡の7つの棚田(岩首昇竜棚田、歌見の棚田、小倉千枚田、片野尾棚田、北片辺棚田、達者棚田、月布施棚田)が選定されました!

今回、全国で271の棚田が「つなぐ棚田遺産~ふるさとの誇りを未来へ~」として選定されています。棚田の景観は世界農業遺産の特徴的なランドスケープとしても重要な存在となっており、これまで展開されてきた取り組みの価値が改めて認められたものと事です。これからも佐渡の棚田の景観や取り組みを、積極的にPRしていきます!



## 定年退職を迎えたJA職員

水稲指導をはじめ長年佐渡の農業に携わってきたJA職員が定年退職を迎えました。

退職後も違う立場から  
佐渡の農業を支えていきます!!  
これからもよろしくお願いたします。



定年退職を迎えたJA職員へ花束・記念品贈呈の様子

JA佐渡の公式 Facebook「佐渡のたんぼにつき」で佐渡の情報が見られます。  
<https://www.facebook.com/jasadotanbo>

